



(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 6月 23日

静岡市長 難波 喬司 殿

提出者

住 所 静岡県静岡市清水区蒲原161

氏 名 日本軽金属株式会社 蒲原製造所

執行役員 所長 佐野 功和

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 054-385-2117

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本軽金属株式会社 蒲原製造所
事業場の所在地	静岡県静岡市清水区蒲原161
事業の種類	16-化学工業 23-非鉄金属製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日 から 令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

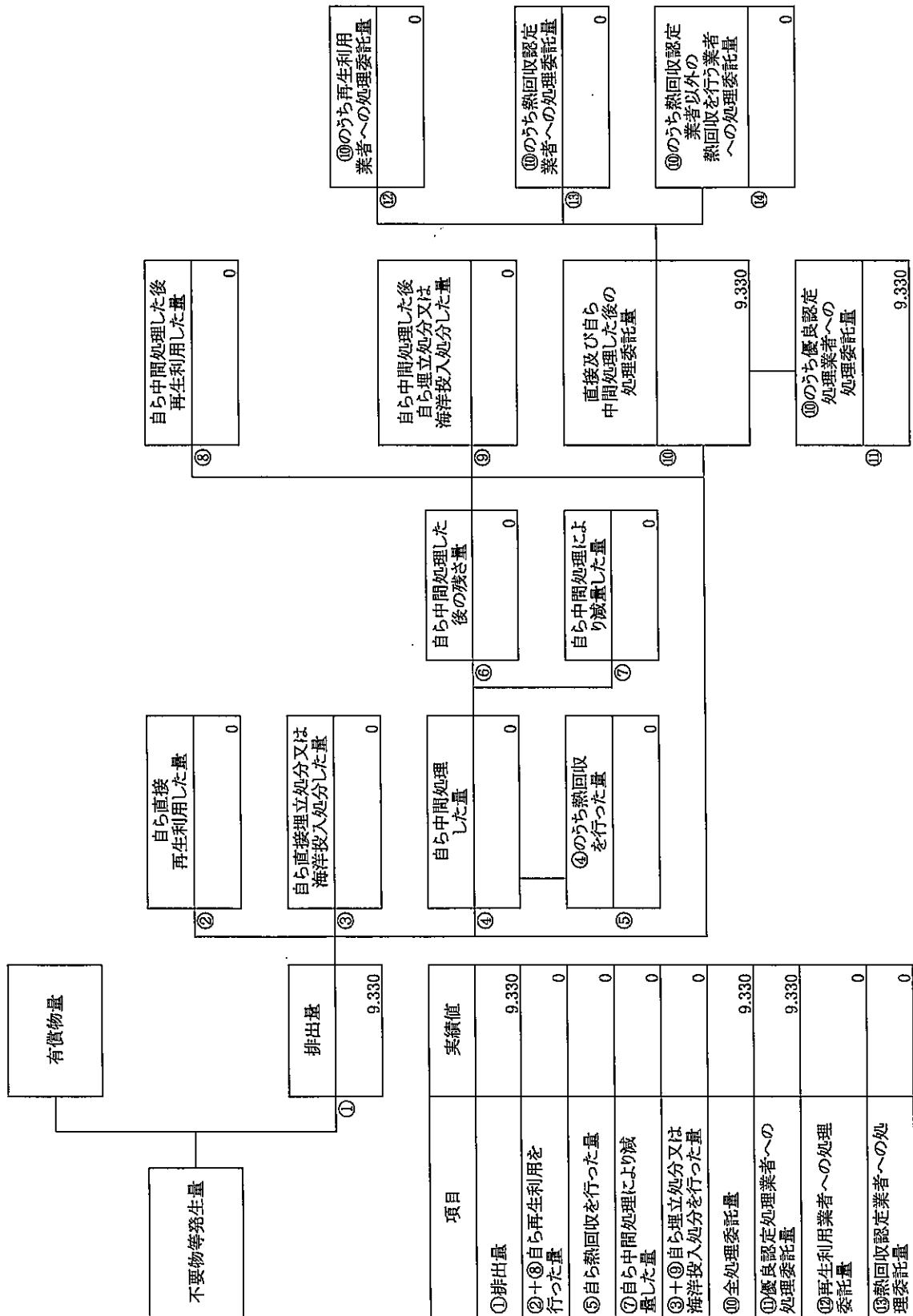
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6,150t	全処理委託量	4,900t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,260t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,300t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,250t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	
--------	--

(日本工業規格



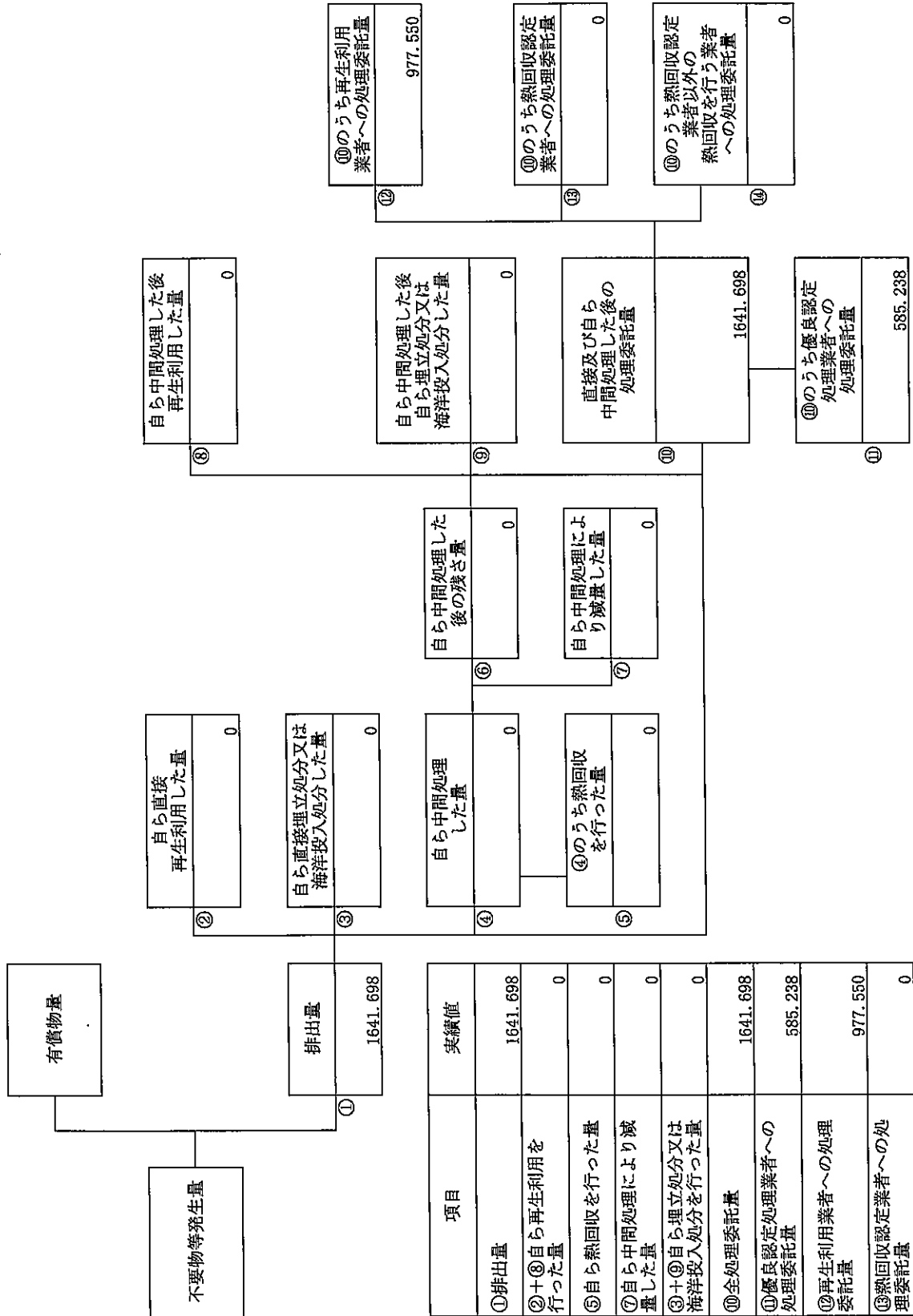
(産業廃棄物の種類：①燃えがら/焼却灰



項目	実績値
①排出量	9,330
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	9,330
①優良認定処理業者への処理委託量	9,330
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

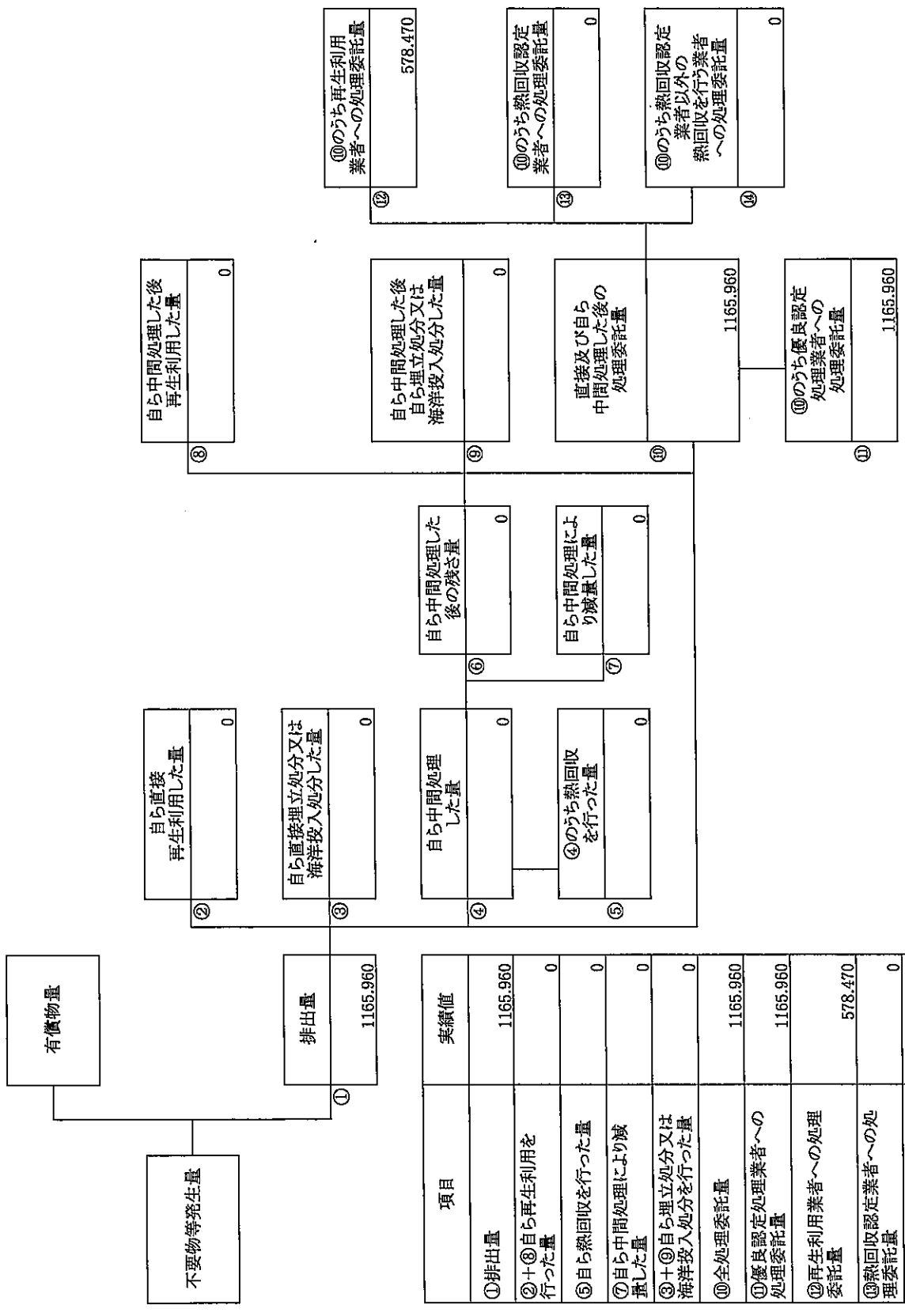
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③汚泥/無機性汚泥)



計画の実施状況

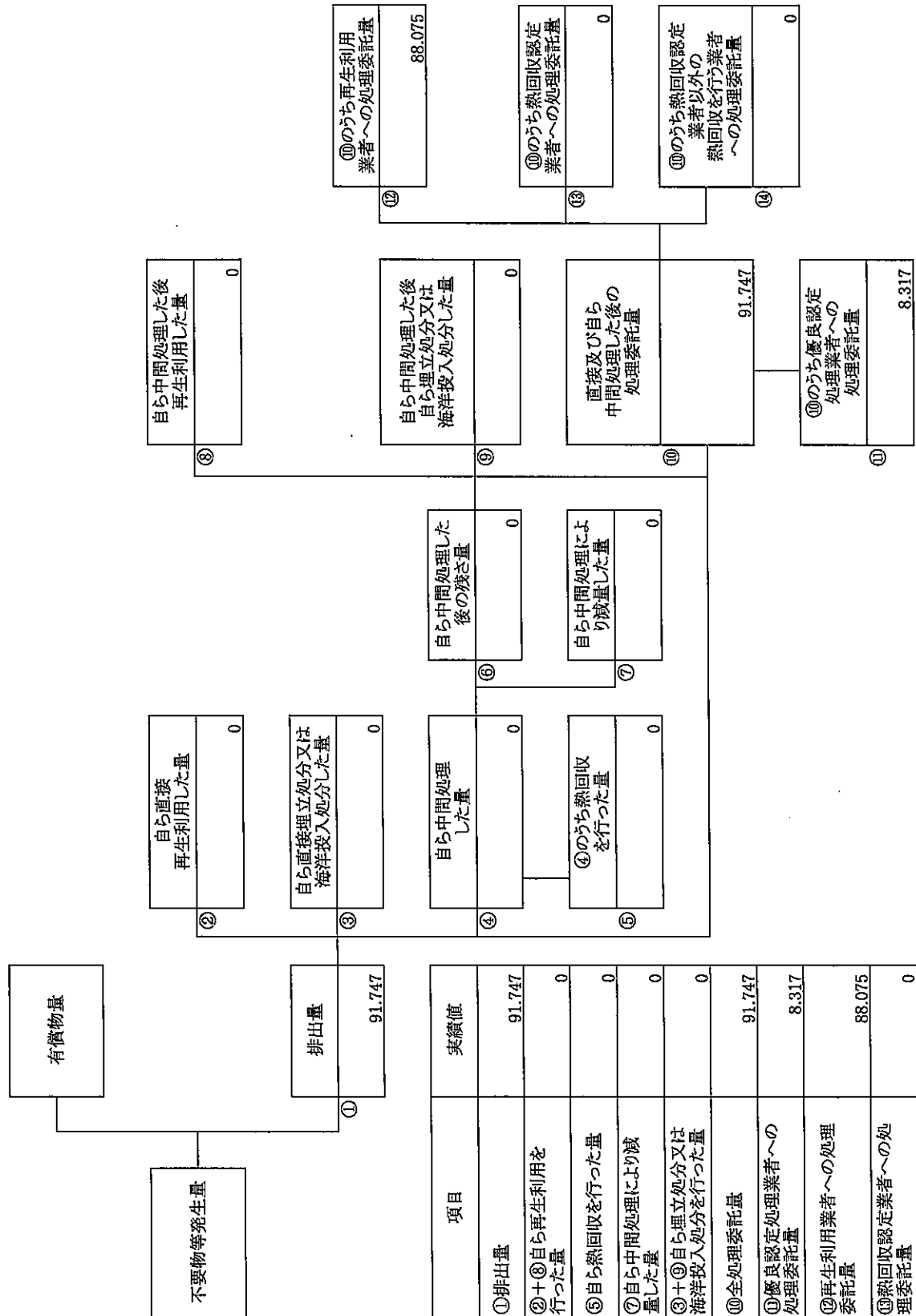
(産業廃棄物の種類: ④汚泥/浄水汚泥)



項目	実績値
①排出量	1165.960
②+③+④自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥+⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1165.960
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1165.960
⑫再生利用業者への処理委託量	578.470
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

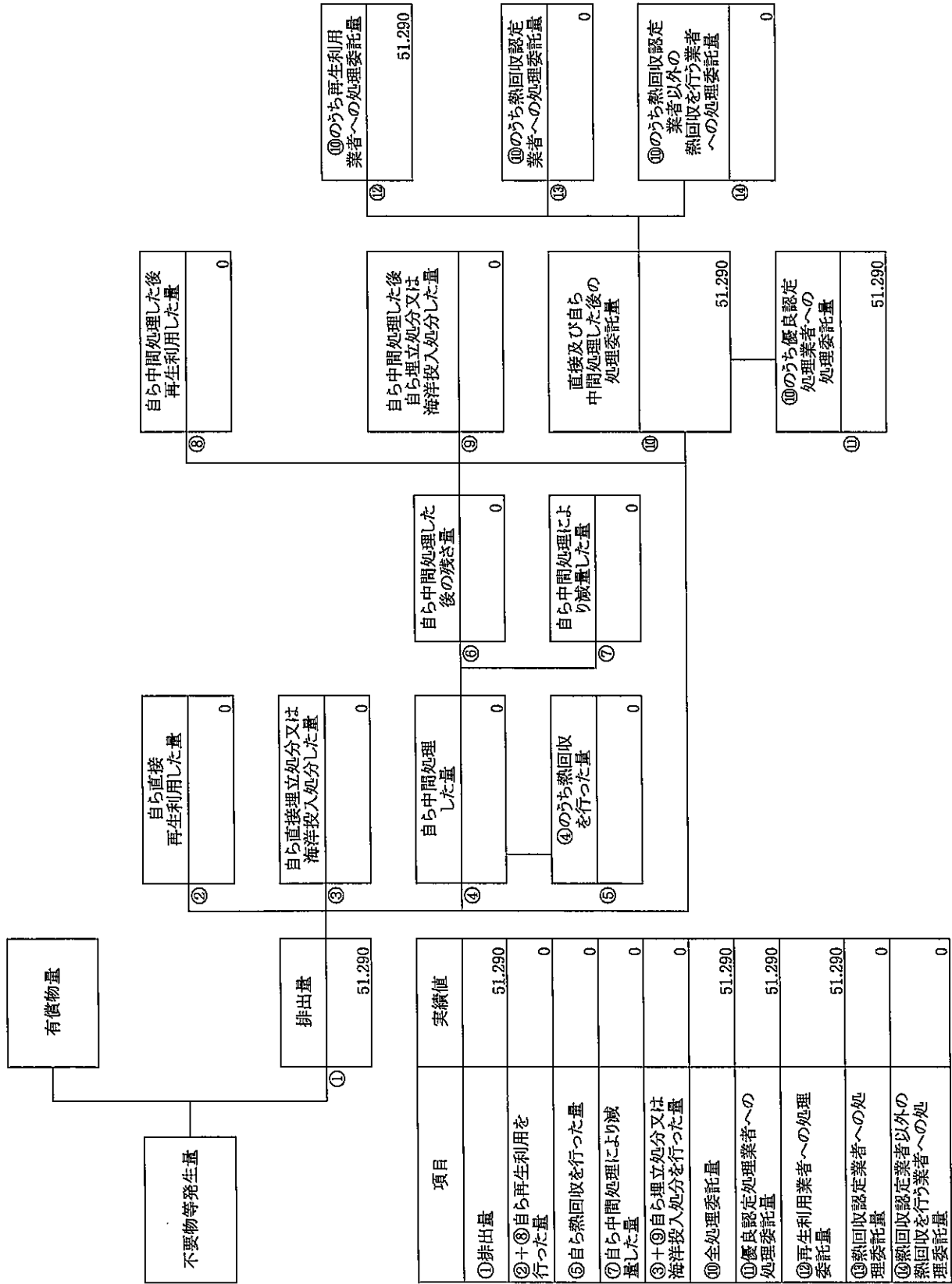
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤廃油/一般廃油)



(産業廃棄物の種類: ⑥廃油/鉱物系廃油)

計画の実施状況



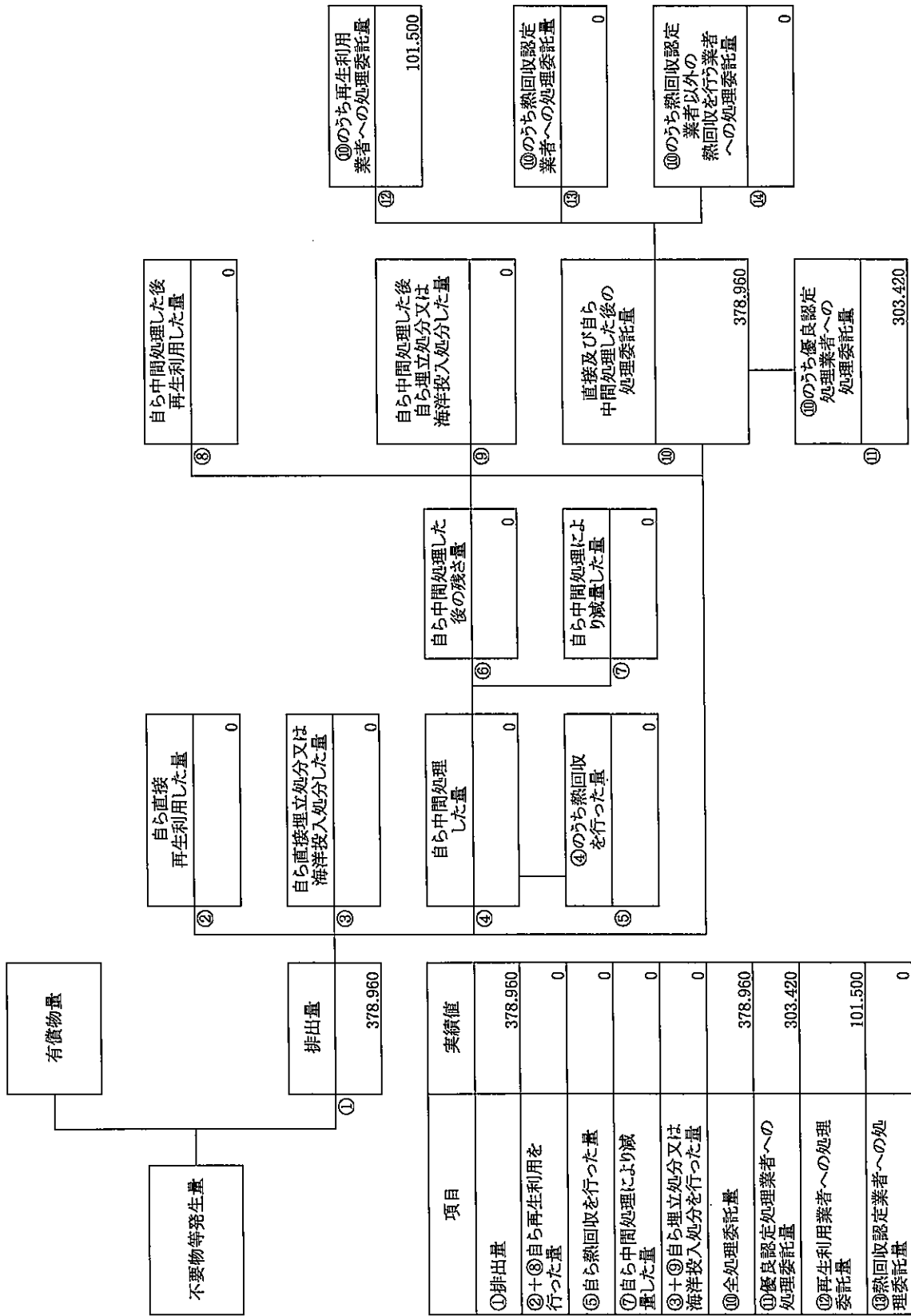
(産業廃棄物の種類：⑦廃油/廃溶剤)

計画の実施状況

有償物量		自ら中間処理した後 再生利用した量		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
不要物等発生量		⑧		⑫	
排出量		⑨		⑬	
① 1279.590		⑩		⑭	
		⑪			
項目	実績値	自ら直接 再生利用した量	自ら中間処理した 後の残さ量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
①排出量	1279.590	②	⑥	⑩	⑭
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0	0	0	267.450	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	③	⑦	⑪	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	1012.140	④	⑤		
③+⑤自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑤	⑥		
⑩全処理委託量	267.450	⑥	⑦		
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	124.570	⑦	⑧		
⑫再生利用業者への処理 委託量	0	⑧	⑨		
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0	⑨	⑩		
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0	⑩	⑪		
	0	⑪	⑫		

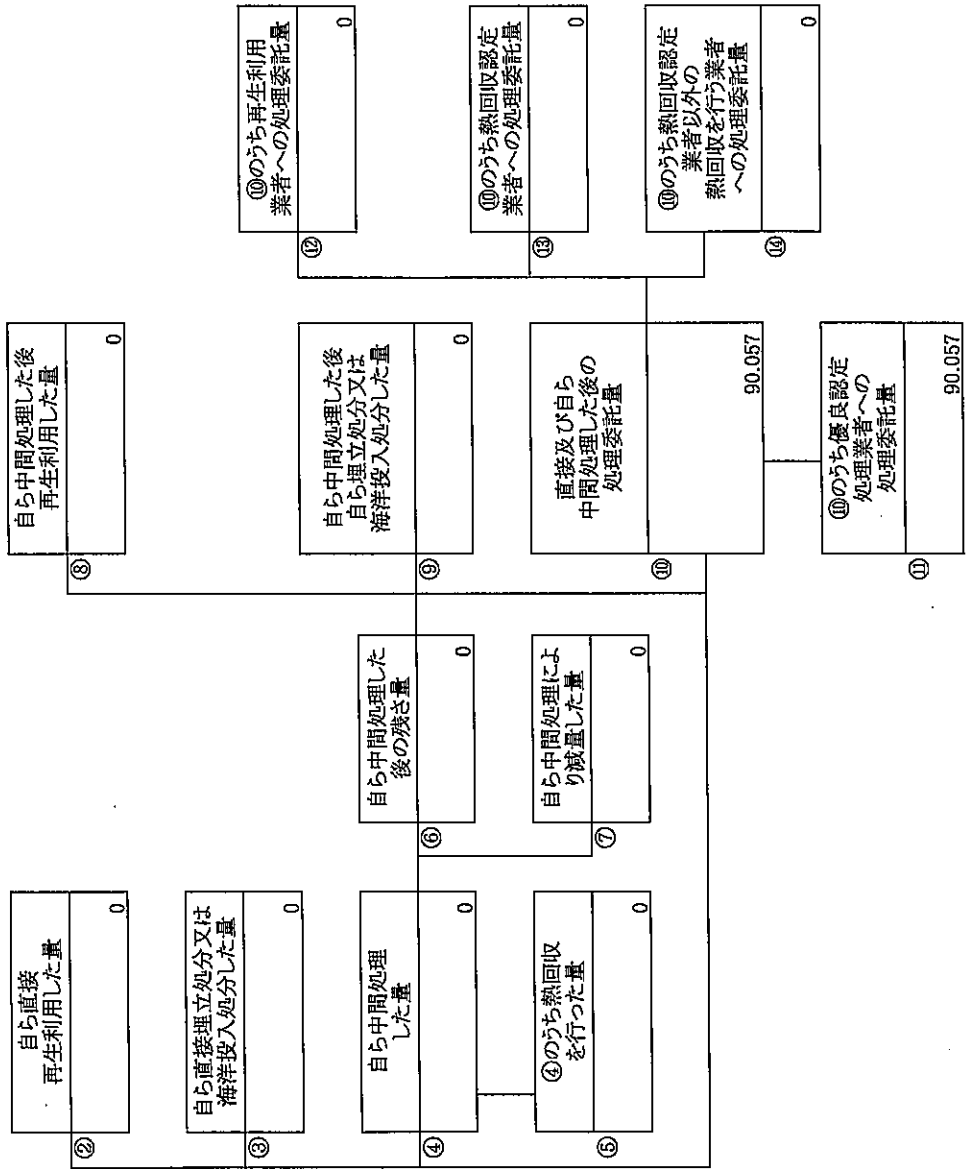
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：⑧廃酸)



項目	実績値
①排出量	378,960
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	378,960
⑪優良認定処理業者への処理委託量	303,420
⑫再生利用業者への処理委託量	101,500
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

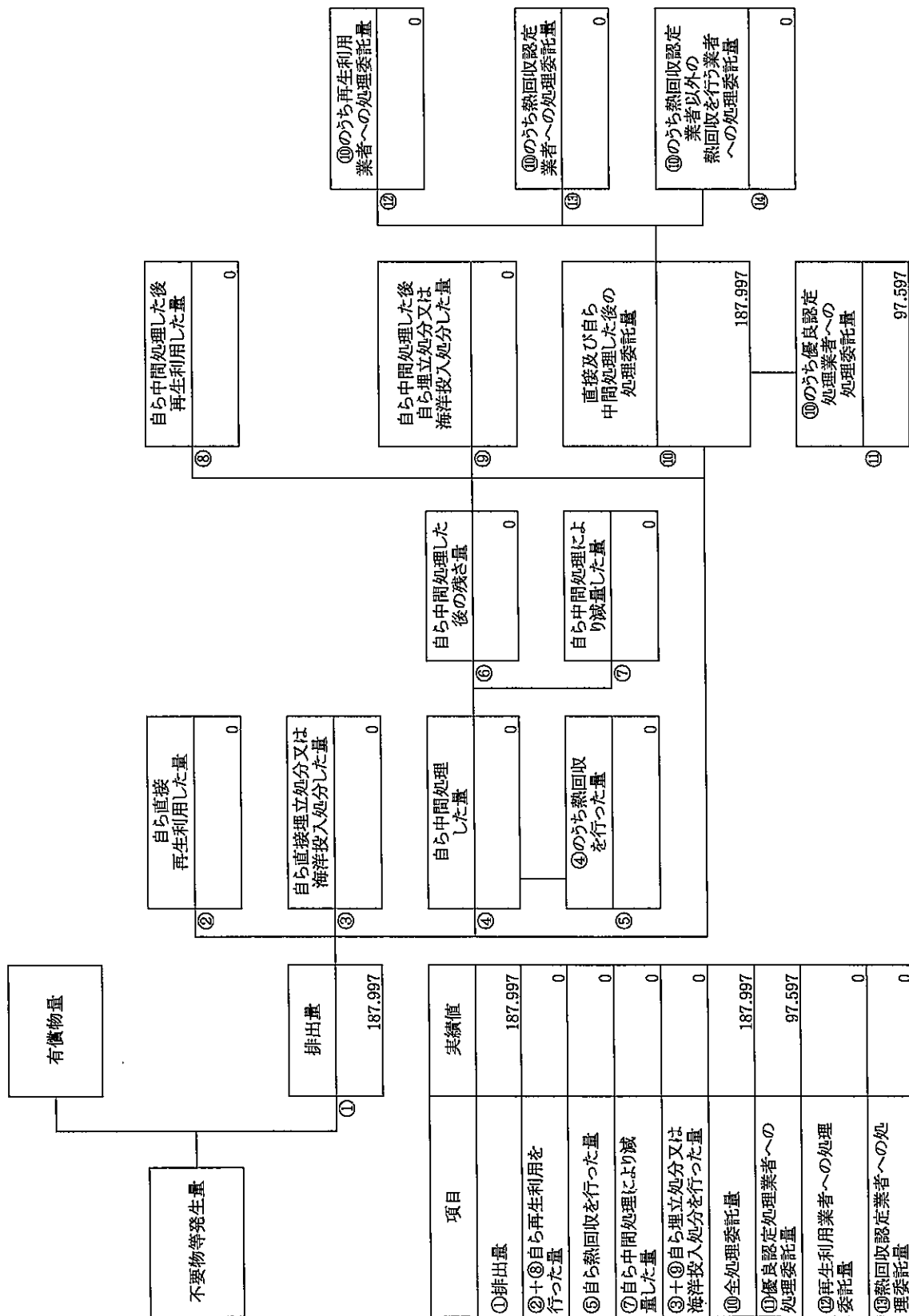
(産業廃棄物の種類：⑨廃アルカリ



項目	実績値
①排出量	90.057
②+③自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	90.057
①優良認定処理業者への処理委託量	90.057
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

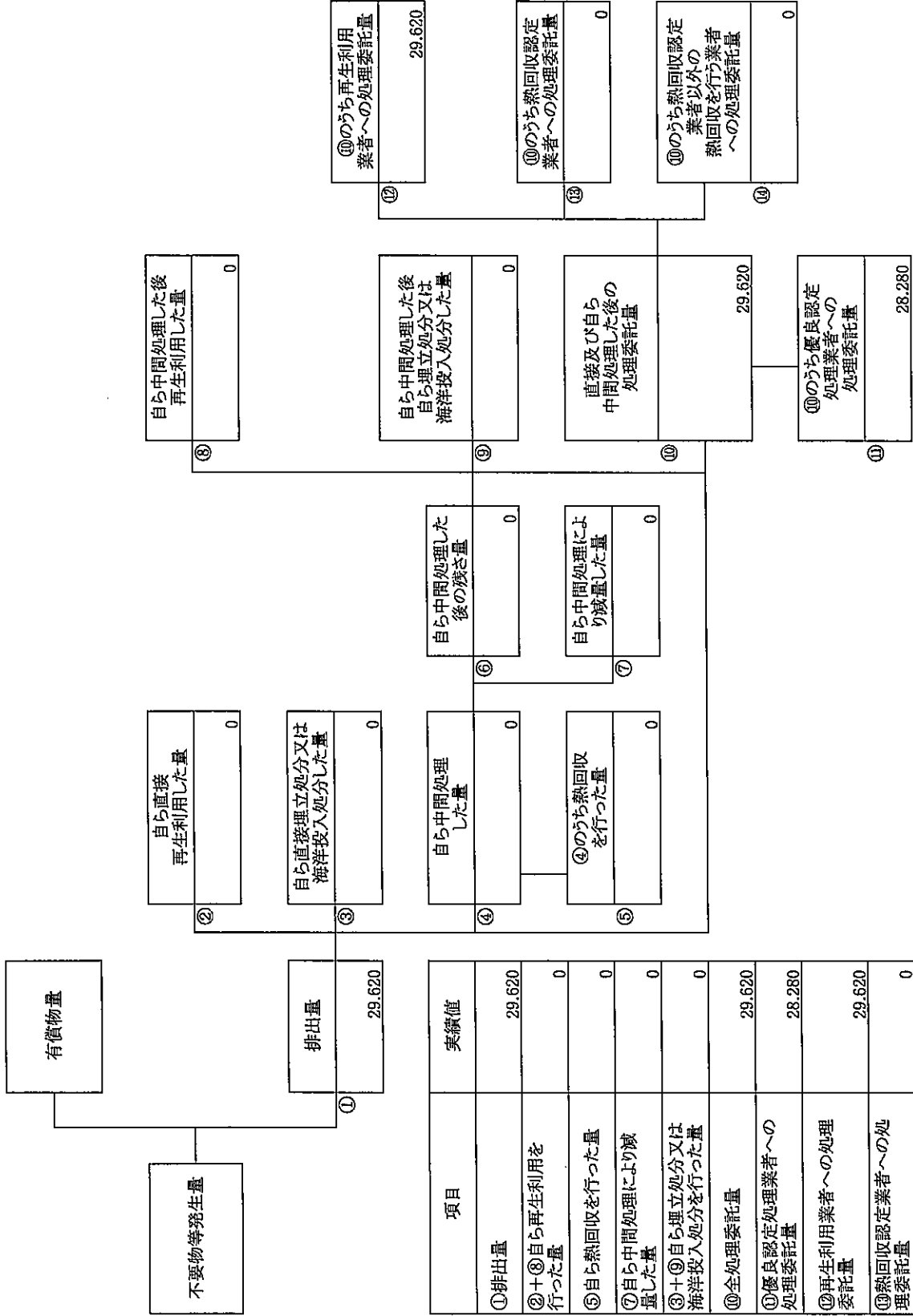
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩廃プラ)



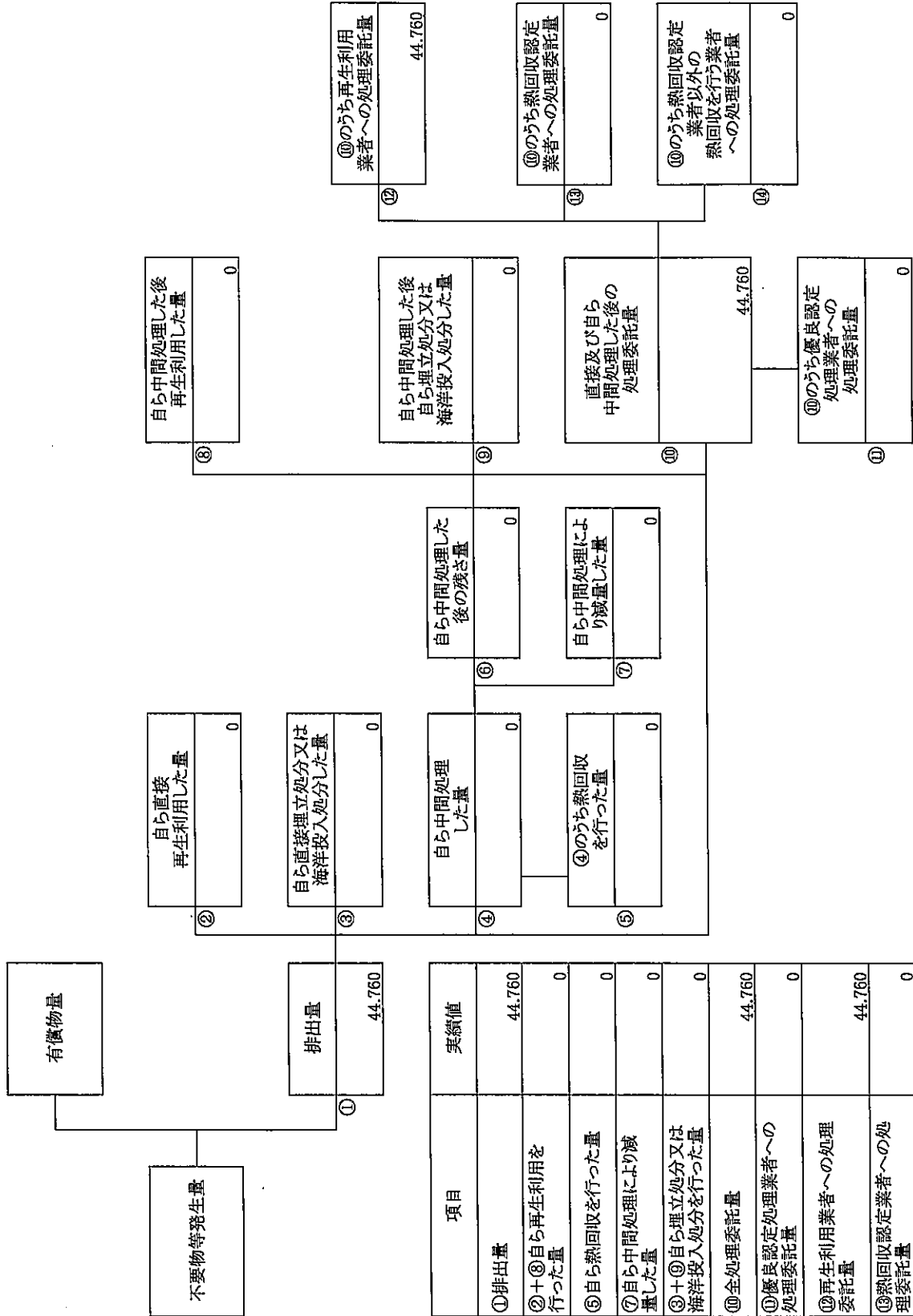
(産業廃棄物の種類：⑩廃プラ/容器包装、発泡スチロール)

計画の実施状況



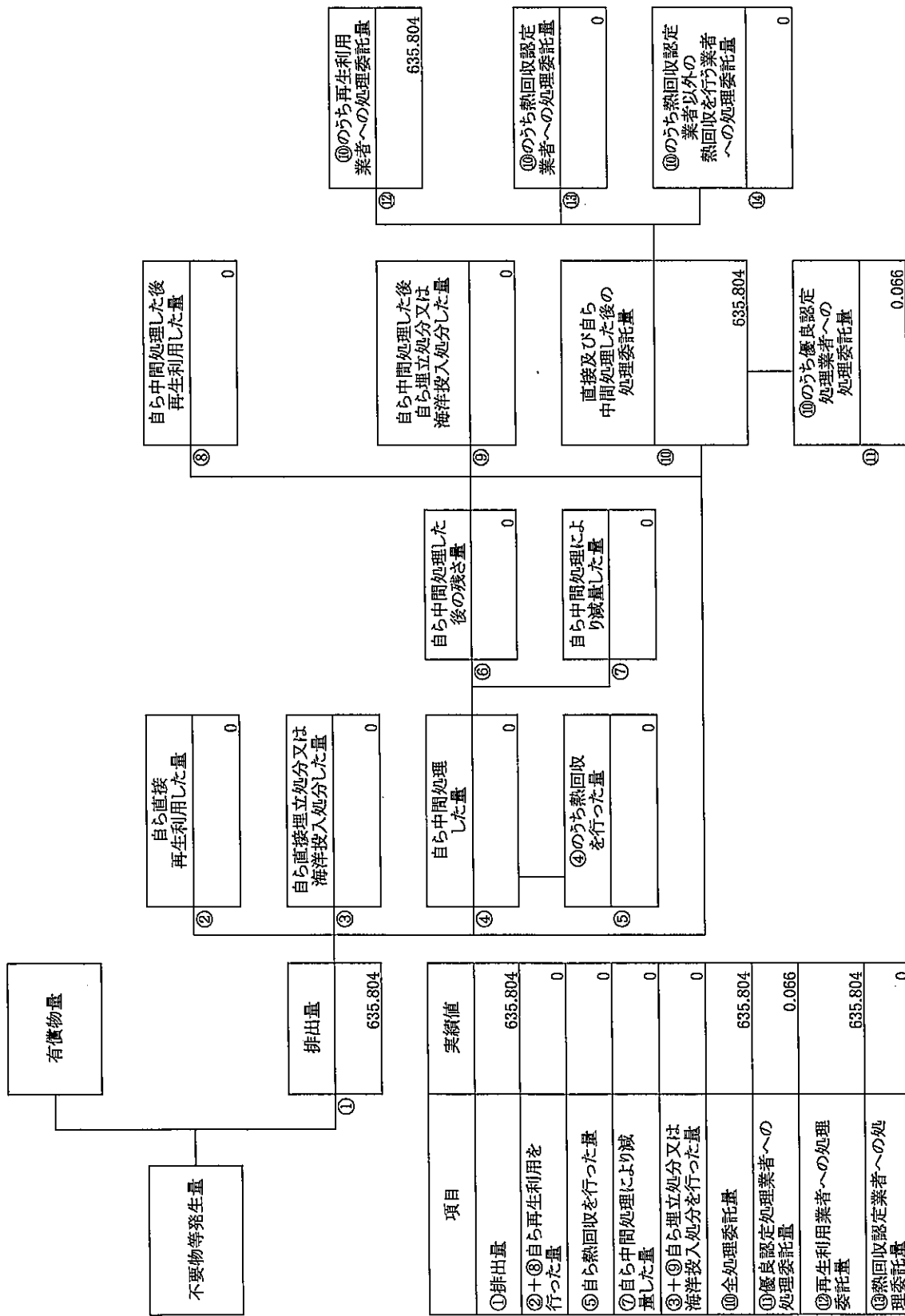
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑫木くず)



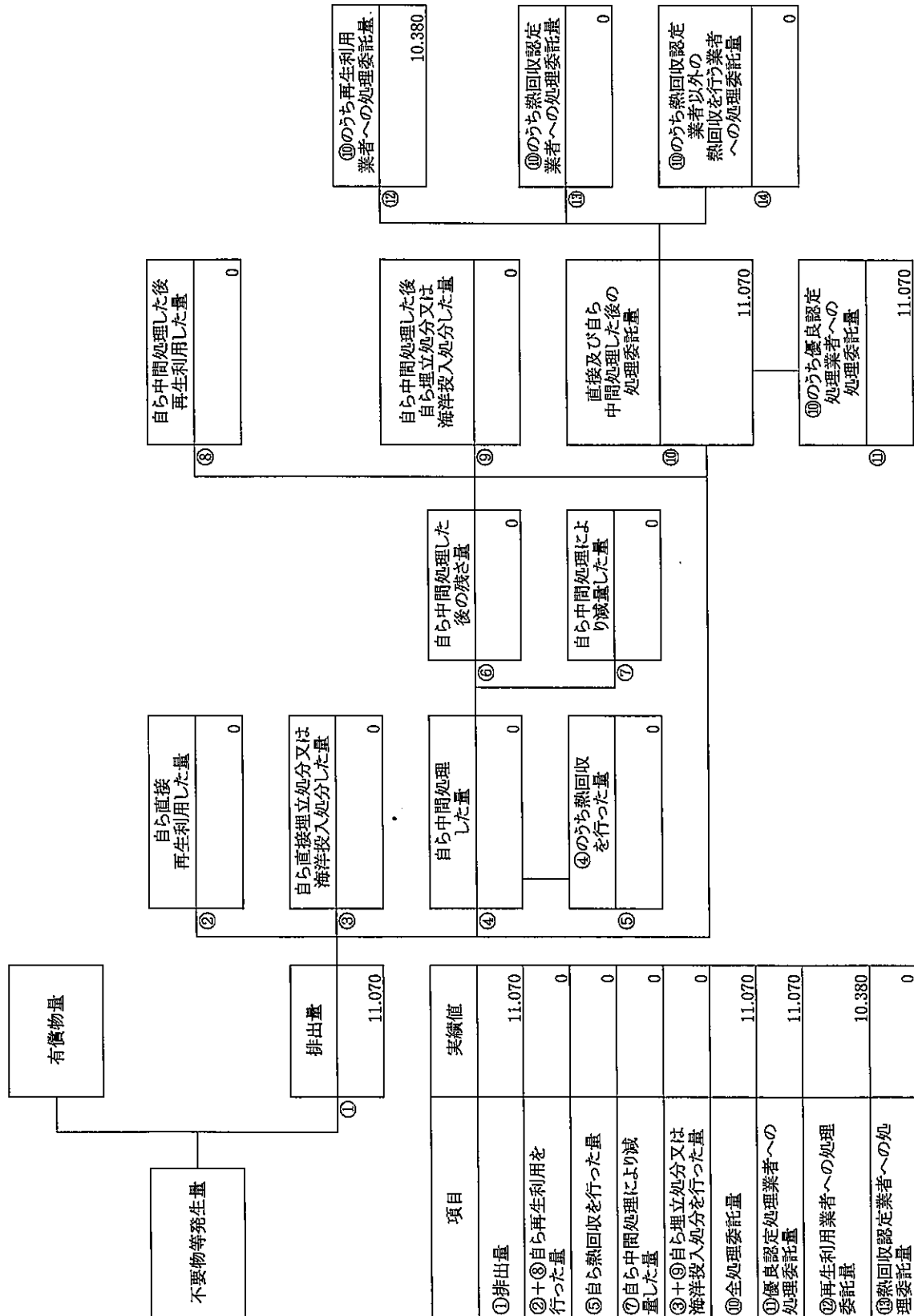
項目	実績値
①排出量	44.760
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	44.760
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	44.760
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0

(産業廃棄物の種類: ⑬金属くず/鉄くず)



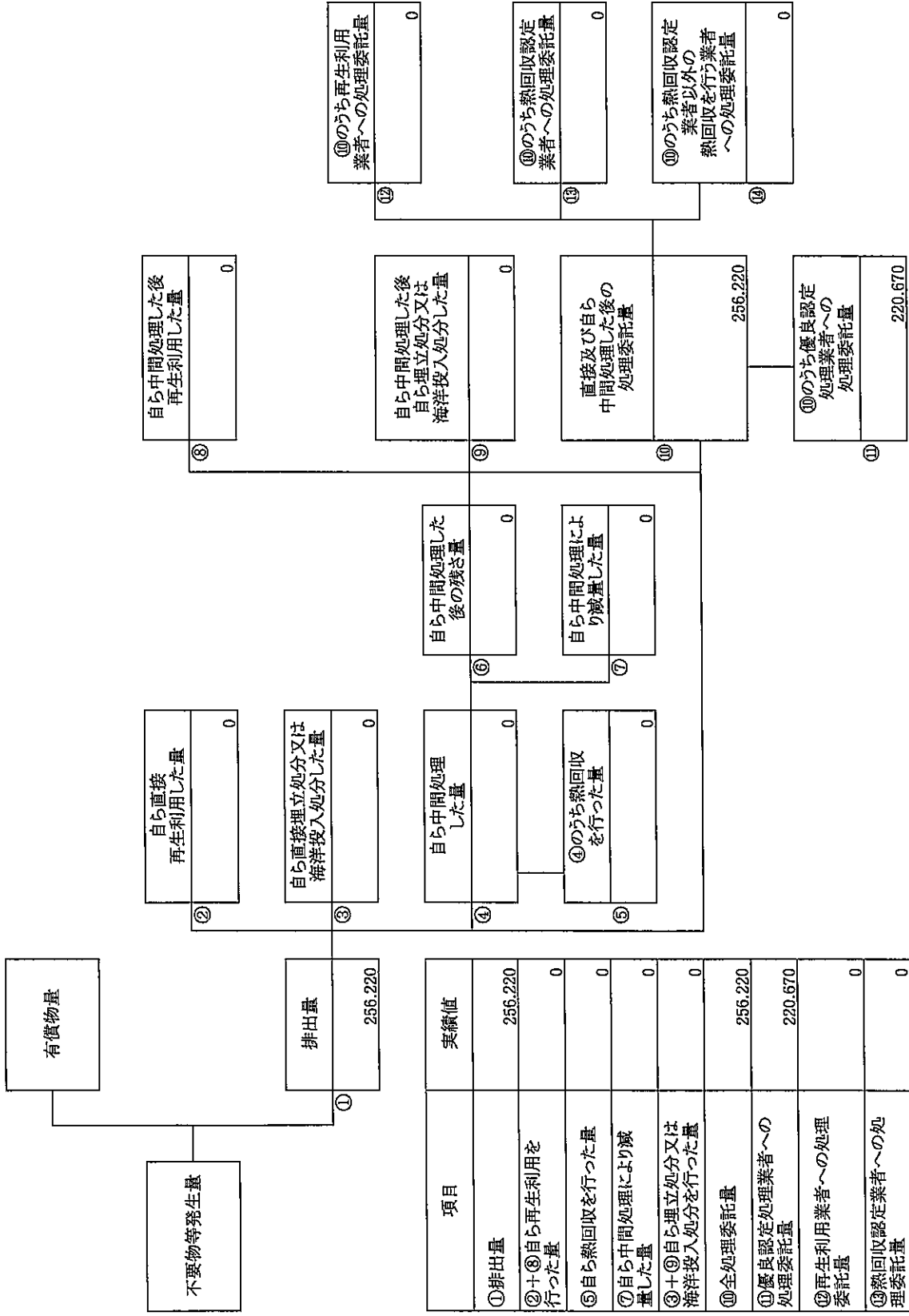
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑩ガラスくず等/ガラスワール)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：⑩鉱さい)



項目	実績値
①排出量	256,220
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	256,220
⑪優良認定処理業者への処理委託量	220,670
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

庭業處藥物處理計畫實施狀況報告書の〔別紙〕

住所	名称	担当部署	担当部署名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
愛知県東海市南地区に所在する支店 の住所	東海地区に所在する事務職に在籍の に在籍する支店等の名称	担当部署の名称	担当部署の氏名	担当部署の電話番号	担当部署のFAX	担当部署の電子 メールアドレス
静岡県静岡市清水区蒲原161	日本軽金属株式会社静岡所	環境管理室	神村 稔	054-385-2117	054-385-2110	naoki@nkc.co.jp

[illegible]

(注1)トン示漢は原則として四捨五入した記し、数字が有効であれば有効点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業、商業等の業種以外の排出実量があった場合は、必要に応じて、値を追加入力するとともに、業面を増加してください。